

一般質問

教育・行財政問題などを熱心に討議

一般質問は2議員が19項目にわたって行いました。概要は次のとおりです。

教育問題

■小・中学生の非行

問 校内暴力が社会問題となっているが、当町の現状とその対応策について伺いたい。

答 幸いにして、町内の小・中学校では大きな校内暴力は起きていないが、その「芽」となるものは見られるので、早期に組み取れるよう、適切な指導を加えていきたい。

対策の根本は、自由と規律のバランスを回復させることだと思ふ。自由の方向に振れ過ぎた振子を、ここで規律の方向に少し振り戻すことが必要であり、大切なことだと考へる。自己統制力の育成が基本である。

■放課後の災害補償

問 児童・生徒の放課後の活動や、ボランティアによる指導中の事故について、災害補償制度

を導入する考へはないか。

答 クラブ活動など、学校管理下の事故については、学校健康会法による補償制度がある。スポーツ指導などボランティアの社会教育活動に対しては、民間の保険で対応しなければならぬので、今後検討していきたい。



■学級減と教室の活用

問 児童・生徒数は減少傾向にあるが、当町の場合はどうか。

また、余った教室はどのように活用していくのか。

答 本年度、上堺小で1学級減となり、さらに2年後は、大総・上堺小でそれぞれ1学級減の見

通しである。これらの余った教室は、児童会活動や作品の展示場など、ゆとりある教育活動の場として活用していきたい。

横芝小は現状のままで推移し、横芝中では、逆に今後3年間教室不足となるが、特別教室を活用して対応していく。

■洋式トイレの設置

問 最近、子供たちの間に骨折が多い。洋式トイレは必要不可欠だと思ふが、各小・中学校の設置状況は。

答 大総小は未設置だが、横芝小に2基、上堺小と横芝中に1基ずつ設けてある。

■社会教育施設の利用

問 中央公民館・文化会館・海洋センターの利用状況と、問題点及びその対策は。

答 昨年度、中央公民館は約2万人、文化会館は約1万人、海洋センターは約8万人と、非常に多くの利用者があつた。

文化会館・海洋センターともに、中年男性の利用が少なくない状況なので、これらの層を対象とした講座・教室の企画、アンケート調査の実施などにより、気軽に利用できる環境づくりに努めていきたい。

行財政問題

また、公民館活動を文化会館で行うようになったため、公民館の建物は、役場・各種団体の会合の場として活用を図っていく方針である。

■財政の見通し

問 58年度一般会計の決算見込み額はどのくらいか。

答 まだ確定はしていないが、歳入が約二十九億千五百万円、歳出が約二十七億百万円となる見込みである。単年度の実質収支で約二億千二百万円黒字となる見通しであり、これが59年度への繰越金となる。

■主要事業の執行計画

問 本年度、当町では事業の前倒し(年度前半の執行)計画はあるのか。

答 国・県の指導により、当町でも59年度上半期に事業の7割を執行する計画であり、各担当課で現在、設計などの準備をすすめている。

■経費削減策

問 行財政改革の一環としての経費削減策を、町ではどのようにすすめているのか。

答 58年度予算編成に際しては、補助金等の1割カットを行い、約二百万円を削減した。59年度は、需用費の一律5%カットなど、消費的経費を中心に約千二百万円の削減を図つた。

このように、町では行財政改革の精神にのっとり、積極的に経費削減に努めている。

■町有地の払下げ

問 先般、回覧により競争入札の通知があつたが、どのような理由で、町有地の払下げをする

